



林野火災が続発

—復旧対策に全力—

異常乾燥、強風注意報下の4月27日、県内各地で林野火災が相次ぎ、久慈市での住家45戸61世帯の全焼をはじめ、農林水産関係などに総額50億円を超える大きな被害をもたらした。

県では同日、災害対策本部を設置。災害救助法の適

用など応急対策を講じるとともに、緊急治山事業等の本格的な復旧作業を急いでいる。また、4月30日から2日間、中村知事も現地を訪れ、被災者を激励。5月6日には早期復旧を訴えるため国会関係、政府関係機関に対し財源措置など16項目について陳情した。



▲ 強風にあおられ、裏山から駆け下りた炎で一瞬のうちに燃え上がった久慈市玉の脇地区での消火活動



▲ 折からの強風で崩壊したパイプハウス (松尾村)

コウナゴ漁を迎えた矢先の大火で、黒こげになった船の残がい (久慈市玉の脇地区)



大火の被災地視察などのため訪れた
▼ 加藤国土庁長官に中村知事らが陳情



▲ 自衛隊ヘリコプターで空から消火活動



▲ 旧浜莚小学校跡地に建てられた県の仮設住宅



焼失した家屋の後片付けをす
▼ る久慈市大尻地区の人たち

最大瞬間風速30m/sを超える強風にあおられ、次々と延焼する山林 (久慈市)

